



子どもたちとかえる

「イソップ物語」より

みなさんは「イソップ物語」を知っていますか。幼いころに読んだことのある人もいるかもしれませんね。今回はその中から「子どもたちとかえる」というお話を紹介します。

子どもたちが池のそばで遊んでいると、水の中にかえるがたくさんいるのを見つけて石を投げ始めました。

何匹かのかえるがそのために大けがをしたり、死んでしまったりしたので、一匹のかえるが水面から顔を出して叫びました。

「お願いだ。子どもたちよ。

そっちには遊びでも、こっちは命がけだ。」

「暴力、いじめ」など相手の体や心を傷つける行為がいけないことは誰もが頭では理解していますよね。では「いじり、ひやかし」はどうでしょう。これらは暴力やいじめではないのでしょうか。

私は「いじり、ひやかし」も「暴力、いじめ」となんら変わりがないように思います。お互いが楽しいのであれば、それはほほえましい「ふざけ合い、じゃれ合い」でしょう。しかし一方だけが楽しくて、もう一方が楽しくないのであればそれはもうその時点で「ふざけ合い、じゃれ合い」と呼ぶことはできません。そして周りのみなさんもそれを見過ごしてもいけないと思います。

あなたにはほんの軽い気持ちの遊びや冗談のつもりでも、相手にとっては命がけの場合もあるのです。そして、そのことがきっかけとなって自ら命を絶ってしまう人もいます。

自分自身が人に行っていること、人にかけている言葉をもう一度振り返ってみましょう。正しいことは正しい、間違っていることは間違っている。正義が生きる集団を作っていきます。

【スキー教室 生徒作文②】

□A組 A N 「スキー移動教室を終えて」

私は今、大きな達成感を感じています。前日は緊張や不安でいっぱいでしたが、この三日間を終えて、普段の学校生活ではできない、貴重な経験をすることができました。

スキー教室では、インストラクターの方々が基本的な姿勢や、板の使い方、止まり方などを丁寧に教えてくれました。最初はバランスをとるのが難しく、何度も転んでしまいましたが、自分で原因を考え、教えていただいたことを意識しながら練習に取り組みました。

練習を重ねていくうちに、少しずつスピードをコントロールできるようになり、最初は怖かった斜面も落ち着いて滑れるようになって、自分の成長を実感しました。また、実習班の仲間と励まし合いながら講習を受けたことで、最後まで前向きな気持ちでスキーに取り組むことができました。最終日には、一回も転ぶことなくコースを滑り切ることができて、嬉しさで胸がいっぱいになりました。これまでの努力が結果につながったことを強く感じて、これからの自信につながりました。

このスキー教室で学んだ、あきらめずに努力することや、仲間と協力することの大切さをこれからの学校生活にも生かしていきたいです。

□C組 M M 「スキー教室を終えて」

今回のスキー教室で楽しかったことや頑張ったこと、学んだことがたくさんあります。

一日目ではスキーの基礎をたくさん練習しました。初めてのスキーだったので、ハの字で全然止まらなかったけれど、同じ班の友達が励ましたくれたり、応援してくれたりしたので、できなくても嫌な気持ちにならずに練習を頑張れました。

二日目では基礎練習の後に、リフトに乗ってから山を降りました。リフトに乗っているとき、本当にここを滑るのかと少し怖かったけれど、ハの字をキープして滑ることができました。

三日目では斜面が急なところを滑りました。転んでしまうと思ったけれど、ハの字を意識したら最後まで滑ることができました。インストラクターや友達に「下りられたね、すごいじゃん!」と言われてとても嬉しかったです。

自由時間では班の友達とカードゲームをしたり、じゃれあったりしてとても楽しかったです。

私はこの三日間で友達と協力するだけじゃなく、励まし合うことも大事だということ学びました。そしてスキーに興味をもちました。いつか友達と一緒にスキーをやりたいです。

□来週の予定

月/ 日 (曜)	行事予定	備考
2/16 (月)	生徒会朝礼	
2/17 (火)	福祉講演会⑥	テスト一週間前
2/18 (水)	職員会議	
2/19 (木)		
2/20 (金)		

